

# はなだより～菊について～

仏花の代表である菊についてご紹介いたします。菊は私たちフラワースペースデザイン部には欠かせないお花の1種です。祭壇生花の作成時や、供花作成時には必ず使用しています。菊は周年出回る花(最盛期は8~10月)で、白のみでなく、赤、ピンク、黄色、オレンジ、青、紫、緑、茶、複色など様々な花色が存在します。

## ◎菊全般の花言葉◎

【高貴】・【高潔】・【高尚】

## ◎色別の花言葉◎

『赤い菊』：あなたを愛しています

『白い菊』：真実

『黄色い菊』：破れた恋

## ◎菊と文学◎

『古今和歌集』

『枕草子』

『源氏物語』

に頻りに登場

しています。



今回は、フラワースペースデザイン部が作成している菊を使用した祭壇生花をご紹介したいと思います。  
フラワースペースデザイン部

## あしがき

朝晩涼しくなり、ふとした時に秋を感じる季節になってまいりました。お彼岸を迎え、お仏壇を清め、お墓参りに行かれる方も多いのではないのでしょうか？

お彼岸は、日本独自の仏教行事で、他国ではみられないそうです。

秋風涼しいこの季節、お墓に参り、ご先祖様を敬い感謝の気持ちを込めて手を合わせ、ゆっくりとした時間を過ごすのも良いのではないのでしょうか。



出口秀美

## 備えて安心！！

### ドリーマー会員制度(互助会積立金)

「家族葬」「一般葬」はご葬儀にどの範囲までの方にお声がけするかの違いであり、どちらも葬儀に必要な基本的な部分の費用は変わりません。ドリーマーでは葬儀で基本的に必要な部分を前もって積み立てるドリーマー会員をご案内しています。事前に積み立てて準備することで、いざという時、残された遺族にかかる費用面での負担や不安が少しでも解消されるからです。今はまだ元気だし繰起でもないから、とついつい考えてしまいますが、やはり何事も事前の準備が大切です。ほんのちょっと、今から準備しておくことで、いざという時の費用や不安の大きさも全然違ってきます。少し考えてみようかな、という方はいつでもご遠慮なくご相談ください！

お問い合わせ先 フリーコール  
0120-44-5880

万が一の時に、喪主になられる方へ、いざという時に慌てないために事前準備をしっかりと行うことが大切です。

### ①お葬式の流れ

もしもの時に慌てないために、ご臨終から通夜、葬儀、初七日法要までの流れを把握しておきましょう。

### ②生前見積り

生前見積りとは、生前中に葬儀プラン等を設定し、見積書等を発行するサービスです。葬儀の内容を十分検討出来るとともに、事前に費用を把握することで金銭的な不安を解消できます。

### ③個別相談

ドリーマーでは、ご相談者のご要望を確認した上で、不安な事柄を汲み取りながら不安な点についてお答えします。

◆ご予算に合わない場合は、予算に合わせて内容の変更が可能です。  
◆後で想定外の費用が発生する事はないです。

ドリーマーの  
ご葬儀費用

お問い合わせ  
資料請求

フリーダイヤル  
0120-44-5880  
365日24時間対応しております。  
【通話無料】携帯電話でもつながります。  
ドリーマーご自宅出張  
無料事前相談実施中！！

お急ぎの方は  
電話にて  
対応いたします。

# 笑ってください

「正座を極める」のか「ダイエットに励む」のか、究極の選択に迫られた前回の記事から早9カ月。ダイエットの甲斐あって順調に体重も減り「最近痩せたんじゃない？」と周りからも言われる様になりモチベーションが向上中の私なのですが、正座に関してはまだまだ長時間座ることが出来ません。

そんなある日、偶然業者の方が提案してくれた商品の中に、「お勧め正座対策グッズ」として(写真のように)金襴生地製の四角い座布団を見せて頂き、思い切って購入しました。

ご当家様との打ち合わせの際に持って行くのですが、いかにも怪しげな金襴柄の四角いものに対して四角いそれ何？という視線を受けることも…。しかし今回のグッズは、以前の物と比べてとても使いやすく、どう頑張っても10分が限界だった正座が30分程度であれば余裕で座っている事が可能になりました。もう大丈夫だと油断していたある日、事件はおこりました。

打ち合わせを終え、時間を失念していた私は30分以上たったことを忘れて普通に立ち上がってしまったのです。座布団のおかげか、足はしびれているものの何とか控室の入り口までたどり着きました。しかし私の足首が伸び切っていて、靴を履こうとしたその時！！なんとそのまま前に倒れこんでしまいました。足首を捻挫してしまいこれ2週間たっているのですが、まだ痛みが引かないので病院に行こうと思っています。

まだまだ正座が苦手な私。油断は大敵ですね。



岡田直也

## ちょっとひといき

今回はいくつかある私の趣味から、車の事をお話しようと思います。私が社会に出てからは1年と半年が経ち、はじめて買った車との出会いや別れ、新しい車への乗り換えなど様々なドラマがありました。



初めて買った車はDAIHATSUさんのミラジーノ。1999年に初代モデルが発売され、レトロでクラシカルなデザインから人気を博しました。私が購入したのはフルモデルチェンジされた2代目ミラジーノでした。

当時、車なんて乗ればなんでも良いと思い訪れた中古車展示場で出会い、一目惚れしてその場で契約してしまいました。コンパクトなボディながら窮屈さを感じさせない室内や木目調のインパネ周りなど、今思い返しても良くできた車だったと思います。ジーノとの日々を振り返ってみると、ボディがワインレッドで汚れると発色が悪くなるため、暇さえあれば洗車をしておりいつでもピカピカでした。洗車機に入ると細かい傷がついてしまうため、「春夏秋冬」常に手洗い洗車をしたものです。

走りの方では、660ccのノンターボ車にもかかわらず随分と無茶をさせました。当時の私は松山で遊ぶことが多く、休みの度に高速を使って松山へ通っていました。かわいらしいボディに似合わず頑張ってはくれるのですが、そこはやはり軽四、登り坂や追い越しの際にはシフトダウンしてしまい、エンジンが奇声をあげじんわりとしか加速しません。車重も軽い為、ちょっとした横風でハンドルを取られ冷や汗をかくことも多々ありました。そんなサバイバルを続ける事1年と3ヶ月、車検を前にジーノとの別れを迎えるのですが、ここから先はまた次回お話ししたいと思います。次回もお楽しみに！



松森啓佑